

NEWS はりきゅう

-漢方内科 鍼灸治療室-

Vol. 05

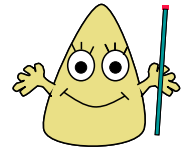
2020年09月号

作成:川越 有紀(鍼灸師)

ようこそ、
鍼灸の世界へ!

今回のテーマは
「鍼(はり)について」

はり・針・鍼(はり)。



イメージアップキャラクター
お灸ちゃん

鍼灸師が治療に用いる鍼には様々な形状や刺法があります。鍼は刺入するものだけでなく、刺入せずに皮膚表面を触れたり擦ったりする小児に対応した方法もあり、用途に合わせて使われています。私たち鍼灸治療室で使用する鍼は、現在一般的に広く用いられているステンレス製の鍼です。今回は私達の使用する鍼とその刺法についてご紹介します。

～刺法:虚方刺と実員刺～

東洋医学研究所(旧名)初代所長の光藤英彦医師は、『靈枢』九針十二原篇等に記された文をもとに、中国最古となる上古4刺法を推定、うち2つの非観血型刺法「虚法」と「実法」の、ステンレス鍼における手技として実用化を図り「虚方刺」と「実員刺」を発案しました。この2法はツボの反応で使い分け、患者さんの呼吸に合わせて鍼を刺入・上下・回転・抜鍼といった繊細な動作を行います。

刺入する部位に応じて、
長さ・太さを選択します。

ステンレス鍼

<長さ>

- ・寸3...40mm
- ・寸6...50mm

<太さ>

- ・2番鍼...0.18mm
- ・3番鍼...0.20mm

3番鍼は、注射針という
33G(ゲージ)相当です!

鍼管(しんかん)と呼ばれる専
用の管に挿入し、刺入します。

～『靈枢』九針十二原篇より～

<観血型刺法>

- ・満則泄之(泄法)
- ・宛陳則除之(除法)

<非観血型刺法>

- ・邪勝則虚之(虚法) ➡ 虚方刺
- ・虚則実之(実法) ➡ 実員刺



次号はツボ(穴位)についてご紹介します。